

# 【英語】

## 『学習の手引き』を読むにあたって

この『学習の手引き』には、問題の解説は言うまでもなく、その問題のねらい、さらには今後の学習に役立つ指針が書かれています。この『学習の手引き』をじっくり読むことで、十分な復習をして、入試対策に万全を期してください。

### 1. 星印について

星印は、入試のレベルから見た場合に、それぞれの出題テーマ・設問形式において、どの程度の頻度と難易度の問題であるかを大まかに示しています。学習の目安にしてください。

- ☆☆☆ 基本 難易度が低く、基礎的な内容の問題。
- ★★☆ 標準 難易度が標準的で、重要度が最も高い問題。
- ★★★ 発展 難易度が高く、応用的な内容を含む問題。

	基本 ☆☆☆	標準 ★★☆	発展 ★★★
1.	4 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
2	(2) <input type="checkbox"/>	(3) <input type="checkbox"/> (4) <input type="checkbox"/> (5) <input type="checkbox"/>	(1) <input type="checkbox"/>
3	A 1 <input type="checkbox"/> B 1 <input type="checkbox"/>	A 2 <input type="checkbox"/> A 4 <input type="checkbox"/> A 5 <input type="checkbox"/> A 7 <input type="checkbox"/> B 2 <input type="checkbox"/>	A 3 <input type="checkbox"/> A 6 <input type="checkbox"/> A 8 <input type="checkbox"/>
4	問 2 <input type="checkbox"/> 問 6 <input type="checkbox"/>	問 3 <input type="checkbox"/> 問 4 <input type="checkbox"/> 問 5 <input type="checkbox"/> 問 8 <input type="checkbox"/>	問 1 <input type="checkbox"/> 問 7 <input type="checkbox"/>
5	問 4 <input type="checkbox"/>	問 1 <input type="checkbox"/> 問 2 <input type="checkbox"/> 問 5 <input type="checkbox"/> 問 6 <input type="checkbox"/> 問 8 <input type="checkbox"/>	問 3 <input type="checkbox"/> 問 7 <input type="checkbox"/>
6	A 3 <input type="checkbox"/>	A 2 <input type="checkbox"/> B 1 <input type="checkbox"/>	A 1 <input type="checkbox"/> B 2 <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/>
総計	/ 8	/ 22	/ 12

## 2. 解説について

### ポイント

正答を得るための鍵となる知識や着眼点を示します。



追加・補足的な解説を示しています。



誤った解答と、それがなぜ間違っているかを示しています。

### File

理解しておきたい文法・構文のワンポイント解説や、語い・熟語・語法に関する知識のまとめです。

### 本文解説

中文空所補充問題、長文総合問題での英文本体の文ごとの解説です。1), 2), 3) ... は文番号を示します。

## 3. 『学習の手引き』で用いた略号

- S 主語(原則として名詞)
- V 動詞
- O(O<sub>1</sub> / O<sub>2</sub>) 目的語(原則として名詞)
- C 補語(原則として名詞・形容詞・分詞)
- A 前置詞の目的語
- X / Y 成句的表現で共通関係にある要素
- one's 人称代名詞の所有格
- to do to 不定詞
- do 原形動詞・原形不定詞
- doing 現在分詞もしくは動名詞
- done 過去分詞
- does 現在形
- did 過去形
- have done 完了形
- that 節 接続詞 that によって導かれる節
- wh-節 when / where / why / how / whether などに導かれる節
- [ ] 言い換えることができる語句
- ( ) 省略することができる語句
- / 語句・訳語などの列挙

## 英語における学力要素

知識 技能	「聞く」「読む」「書く」といった技能を活用するための基礎となる語彙・文法など
思考力 判断力	状況に応じて、情報や考えの概要を的確に理解し、判断する力
表現力	4 技能を活用し、情報や考えを適切に表現する力や伝えあう力

# 1 Listening Comprehension

## 【2】との選択問題】

思考力・判断力 情報を聴き取り、内容を把握する力

### ▶ 解答 ◀

【配点】(15点) 各3点×5

1. (B) 2. (B) 3. (C) 4. (C)  
5. (A)

## 【放送された英文と訳】

1) On April 3, 1860, a mail service called the Pony Express was launched in the American West. 2) In those days, mail was usually carried by train in the eastern part of America, but the railroad only went part of the way across the country. 3) After that, mail was carried over 3,000 kilometers to California in four-wheeled vehicles called stagecoaches. 4) Unfortunately, due to the stagecoaches' lack of speed, letters took about 25 days to reach California. 5) The Pony Express was extremely expensive, but it could deliver letters in just 10 days.

6) The Pony Express used riders on horses to transport mail. 7) It had about 200 stations, and 80 riders worked for the company. 8) There was a station about every 20 kilometers, and riders changed to a fresh horse when they arrived at each station. 9) One rider would travel about 140 kilometers. 10) Then, a new rider would take over, just like runners in a relay race.

11) The riders hired by the Pony Express were small and light, as they could travel fast. 12) Most weighed less than 56 kilograms. 13) Their average age was about 20, but it was not unusual for the company to hire riders who were just 14. 14) The riders earned up to \$150 per month, which was a large amount at the time.

15) Pony Express riders carried only water, a gun, and a mochila. 16) The mochila was made of leather, and it had four large pockets on the sides to keep letters in. 17) The bag was placed on top of the saddle so the rider could sit on it to keep it safe. 18) Then, it would be moved to the next horse when the

rider arrived at a station.

19) The riders traveled through snow and storms. 20) Sometimes, they even had to escape from thieves. 21) Although the service was quick and letters were almost never lost, the Pony Express did not last long. 22) In 1861, a telegraph service started. 23) Telegraphs use wires to send messages extremely quickly. 24) They became more popular, and the Pony Express stopped operating. 25) However, the bravery and skill of its riders have become an important part of the history of America's Old West.

1) 1860年4月3日、アメリカ西部でポニー・エクスプレスという郵便事業が開始された。2) 当時アメリカ東部では、郵便物を列車で運ぶのがふつうだったが、鉄道は国の途中までしか通っていなかった。3) そこから先カリフォルニアまでの3,000キロメートル以上は、郵便馬車と呼ばれる四輪車で郵便物を運んでいた。4) 残念なことに郵便馬車はスピードが出なかったため、手紙がカリフォルニアに着くまでに約25日かかった。5) ポニー・エクスプレスは非常に高くついたが、わずか10日で手紙を届けることができた。

6) ポニー・エクスプレスは馬の乗り手を雇い、郵便物を届けた。7) 約200の駅があり、80人の乗り手がその会社で働いていた。8) 約20キロメートルごとに駅があり、駅に着くと乗り手は新しい馬に乗り換えた。9) 1人の乗り手が馬で走る距離は約140キロメートルだった。10) その後、リレー競争のランナーのように、次の乗り手と交代した。

11) ポニー・エクスプレスで雇われた乗り手たちは、小柄で軽かった。というのも、その方が速く走れるからだ。12) ほとんどの乗り手が体重56キロ未満だった。13) 彼らの平均年齢は20歳前後だったが、会社が弱冠14歳の乗り手を雇うのも珍しいことではなかった。14) 乗り手たちは最高で1か月に150ドルを稼ぎ、当時としては高額であった。

15) ポニー・エクスプレスの乗り手たちは、水、銃、モチーラだけを携えていた。16) モチーラは皮革製で、側面には手紙を入れておく大きなポケットが4つあった。17) 乗り手たちがその上に座って安全に保管することができるよう、モチ

ーラは鞍の上に置かれた。18) その後、乗り手が駅に到着すると、モチーラは次の馬に移された。

19) 乗り手たちは、雪や嵐に見舞われても馬で走った。20) 時に、彼らは盗賊から逃げなければならぬことさえあった。21) サービスは迅速で、手紙が紛失することはほぼなかったが、ポニー・エクスプレスは長続きしなかった。22) 1861年、電報サービスが開始されたのだ。23) 電報は電線を利用して、非常に速くメッセージを送ることができる。24) 電報はますます普及し、ポニー・エクスプレスは事業を停止した。25) しかしながら、乗り手たちの勇敢さと技能は、アメリカ西部開拓史の重要な一部となっている。

#### 語句・表現

- mail service 「郵便事業」
- launch O 「Oを開始する」
- American West 「アメリカ西部」
- in those days 「当時は」
- mail 「郵便物」
- go part of the way 「途中まで行く」
- four-wheeled vehicle 「四輪車」
- stagecoach 「郵便馬車、駅馬車」
- unfortunately 「残念なことに」
- due to A 「Aのせいで」
- lack of A 「Aが不足していること」
- extremely 「非常に」
- deliver O 「Oを配達する」
- transport O 「Oを輸送する」
- work for A 「Aで働く」
- travel 「移動する」
- take over 「引き継ぐ、交代する」
- relay race 「リレー競争」
- hire O 「Oを雇う」
- weigh C 「Cの重さがある」
- not unusual 「よくある、珍しくない」
- earn O 「Oを稼ぐ」
- up to A 「最大でA」
- amount 「量、額」
- at the time 「当時は」
- mochila 「モチーラ(馬の鞍につける革製の覆い)」
- leather 「皮革」
- place O on top of A 「OをAの上に置く」
- saddle 「鞍」
- storm 「嵐」
- thief 「泥棒、盗賊」

- last 「続く」
- telegraph 「電報」
- wire 「電線」
- operate 「操業する」
- bravery 「勇敢さ」
- skill 「技能」
- America's Old West 「アメリカ西部開拓時代」

#### 設問別解説

##### 1. ★★☆☆

##### 【放送された質問文と訳】

What was the advantage of sending a letter using the Pony Express?

ポニー・エクスプレスを利用して手紙を送る利点はどれか。

##### 【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 郵便馬車を利用するよりも安かった。
- (B) 郵便馬車を利用するよりも速かった。
- (C) 列車を利用するよりも時間ががからなかった。
- (D) 列車を利用するよりも安かった。

第4)、5)文の内容より、(B)が正解。

##### 2. ★★☆☆

##### 【放送された質問文と訳】

What is true about the Pony Express's system?

ポニー・エクスプレスのシステムについて正しいものはどれか。

##### 【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 各駅に数人の乗り手がいた。
- (B) それぞれの馬が約20キロメートル走った。
- (C) 駅と駅の間は140キロメートル離れていた。
- (D) 約200人がそこで働いていた。

第8)文の内容より、(B)が正解。

▷本文で述べられていないため、(A)は不可。

▷第8)文によれば、「約20キロメートルごと」に駅があったため、(C)は不可。

▷第7)文によれば、「80人の乗り手が…働いていた」とあるが、ポニー・エクスプレスで何人働いていたかについては述べられていないため、(D)は不可。

### 3. ★☆☆

#### 【放送された質問文と訳】

What is one thing that we learn about Pony Express riders?

ポニー・エクスプレスの乗り手についてわかることはどれか。

#### 【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 彼らは体重が少なくとも 56 キロあった。
- (B) 彼らのほとんどが、給料がとても安かった。
- (C) 彼らの中には 10 代の若者もいた。
- (D) 彼らは 20 歳になるとやめなければならなかった。

第 13) 文の内容より、(C)が正解。

### 4. ★☆☆

#### 【放送された質問文と訳】

How did the riders use a mochila?

乗り手たちはモチーラをどのように使ったか。

#### 【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 武器の一種として。
- (B) 水筒として。
- (C) 郵便物を運ぶため。
- (D) 彼らを駅まで導くため。

第 16) 文の内容より、(C)が正解。

### 5. ★☆☆

#### 【放送された質問文と訳】

Why did the Pony Express close down?

なぜポニー・エクスプレスは廃業したか。

#### 【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) メッセージを送るためのより良い方法があったため。
- (B) 盗賊が大きな問題になったため。
- (C) あまりに多くの嵐に見舞われたため。
- (D) あまりに多くの手紙を紛失していたため。

第 22)～24) 文の内容より、(A)が正解。

## ② 中文空所補充問題

### 【①との選択問題】

知識・技能 思考力・判断力 文法の力、内容を把握する力

#### ▶ 解答 ◀

【配点】(15点) 各 3 点×5

- (1) (イ) (2) (ア) (3) (ア) (4) (ア)
- (5) (エ)

### 本文解説

#### 〈第 1 段落〉

1) Today, even school children know that birds migrate south every fall to spend time in warmer areas where there is more food available. 2) However, this was not always the case. 3) Up until the nineteenth century, birds' disappearance during the winter months was considered to be a great mystery. 4) This was largely because in the days before there were airplanes, trains, and cars, most people spent their entire lives in the same area and had extremely limited knowledge about other countries and regions. 5) ( 1 ) they knew was that many birds disappeared every fall and that no matter how hard they searched for them, the birds were impossible to find.

1) 今日では、小学生でさえ、鳥が毎年秋に南に移動し、えさが多い暖かい地域で過ごすことを知っている。2) だが、これは、かつては必ずしもそうではなかった。3) 冬の数か月間、鳥がいなくなることは 19 世紀まで大きな謎であると考えられていた。4) これは主に、飛行機、鉄道、自動車が現れる以前は、ほとんどの人が一生を生まれ育った土地で過ごしていて、他の国や地域についての知識が極めて限られていたためだ。5) 彼らがわかっていたのは、毎年秋に多くの鳥が姿を消し、どんなに懸命に探しても見つけないということだけだった。

- 1) ・that 節内の to spend ... は副詞句で、where ... food available は warmer areas を先行詞とする関係副詞節。
- 2) ・this was not always the case は部分否定を用いた表現で、「これは必ずしもそうだったわけではなかった」という意味。this は第 1) 文の内容を受けるもので、be the case は「事実である」と

いう表現。

- 3) ・ was considered to be ... は consider O to be ... 「Oを…だと考える」を受動態にしたもの。
- 4) ・ spent ... と had ... が most people を共通の主語とし、等位接続詞 and で並列されている。
- 5) ・ 空所(1)については、設問別解説 参照。
- ・ no matter how hard they searched for them は、no matter how ... 「どんなに…しても」の表現を用いた副詞節。they は「当時の人々」、them は「鳥」のことである。
- ・ the birds were impossible to find では、S is impossible to do 「Sは…するのが不可能だ」の構文が用いられている。この構文は、意味的には S が do の目的語にあたる。

- migrate 「移動する、移住する」
- spend O 「O(時間など)を過ごす」
- available 「入手可能な」
- up until A 「Aに至るまで」
- disappearance 「消失、消えてしまうこと」
- mystery 「謎」
- entire 「全体の、全部の」
- extremely 「極端に、極めて」
- limited 「限られた」
- region 「地域」
- disappear 「消失する、消える」
- search for A 「Aを探す」

#### 〈第2段落〉

6) This mass disappearance led to some very strange explanations for what happened to them. 7) Some of the earliest theories come from the famous Greek philosopher Aristotle. 8) He observed that bears hibernate during the winter and guessed that perhaps birds were also spending the whole time asleep. 9) Another of his ideas was that birds' bodies ( 2 ) depending on the season. 10) He thought summertime birds called garden warblers actually transformed into birds called blackcaps in the winter. 11) This was logical since they were not seen together and were very similar in size and shape, but, of course, it was also completely wrong.

6) このように一斉になくなってしまうことで、鳥たちに何が起っているのかについて、いくつかの非常に奇妙な説明が生まれた。7) 最も

古い説には、有名なギリシャの哲学者であるアリストテレスが唱えたものもある。8) 彼は、クマが冬に冬眠することに気づき、鳥もおそらくその期間ずっと眠っているのではないかと推測した。9) 彼のもう1つの考えは、鳥の体が季節に応じて変化するというものだった。10) 彼は、ニワムシクイと呼ばれる夏季に見られる鳥は、実は冬に見られるズグロムシクイと呼ばれる鳥に変わるのだと考えていた。11) この2つの鳥は同時に見られることはなく、大きさと形が非常に似ていたために、この考えは理にかなうものであったのだが、もちろん、これもまったくの誤りだった。

- 6) ・ what happened to them は for の目的語となる名詞節。
- 8) ・ observed that ... the winter と guessed that ... time asleep が、and で並列されている。
- 9) ・ 空所(2)については、設問別解説 参照。
- 10) ・ called garden warblers は He thought に後続する目的語となる節の主語である summertime birds を修飾する過去分詞句で、called blackcaps は birds を修飾する過去分詞句。
- 11) ・ since ... and shape は〈理由〉を表す副詞節。
- lead to A 「Aにつながる、Aを引き起こす」
  - explanation 「説明」
  - theory 「理論、説」
  - Greek 「ギリシャ人の、ギリシャの」
  - philosopher 「哲学者」
  - Aristotle 「アリストテレス」論理学、物理学など多くの分野で功績を残した古代ギリシャの哲学者。
  - observe that S V ... 「…だと気づく」
  - guess that S V ... 「…だと推測する」
  - asleep 「眠って」
  - depending on A 「Aによって、A次第で」
  - garden warbler 「ニワムシクイ」
  - transform into A 「Aに姿を変える、変容する」
  - blackcap 「ズグロムシクイ」
  - logical 「理にかなう、論理的な」
  - be similar in A 「Aの点で似ている」

#### 〈第3段落〉

12) In the 1600s, a famous scientist named Charles Morton guessed that birds were actually migrating to distant places. 13) However, he was not correct about the destination — Morton believed that they were flying to the moon. 14) As ( 3 ) Aristotle,

although his theory was inaccurate, it was based on observations and logic. 15) Since birds seemed to disappear completely, it made ( 4 ) that they had left the earth, and the moon was the nearest destination that they could reach. 16) Also, he had heard from sailors that birds appeared near their ships, not coming from far in the distance, but rather appearing to descend from the sky above them.

12) 1600年代に、チャールズ・モートンという有名な科学者は、鳥が実際には遠い所に移動しているのではないかと推測した。13) しかし、彼はその目的地に関しては誤っていた。鳥は月に飛んで行くとモートンは思ったのだ。14) アリストテレスの場合と同様に、彼の説は正しくはなかったものの、観察と論理に基づいていた。15) 鳥は完全に姿を消すように見えたので、鳥が地球を離れたということは理にかなっており、月が鳥の到達できそうな最も近い目的地であった。16) また、彼が船乗りから聞いていたのは、鳥が彼らの船の近くに現れる際は、遠く離れた場所から来るのではなく、むしろ、上空から舞い降りてくるように見えたということだった。

- 12) ・ named Charles Morton は a famous scientist を修飾する過去分詞句。
- 13) ・ ダッシュ(—)以降の文は、直前の he was not correct about the destination を補足的に説明している。
- 14) ・ 空所(3)については、設問別解説 参照。
- 15) ・ 空所(4)については、設問別解説 参照。
- 16) ・ that 以下は、he had heard の目的語となる名詞節。節内は birds(S), appeared(V) ... で、not coming ... above them は、not ... but rather ~ 「…ではなく、むしろ～」の表現を用いた分詞句。
- distant 「遠い」
  - destination 「目的地」
  - inaccurate 「不正確な、誤った」
  - be based on A 「A に基づいている」
  - observation 「観察」
  - logic 「論理」
  - make sense 「理にかなう、意味を成す」
  - sailor 「船乗り、船員」
  - appear 「現れる」
  - in the distance 「離れたところに、遠方に」
  - descend from A 「A から降りる、降下する」

#### 〈第4段落〉

17) It was not until 1822 that the first solid ( 5 ) of bird migration was discovered. 18) A bird that had been shot with an arrow made from a tree that is found only in Africa was discovered in Germany. 19) It was this event that helped to convince the world that birds were actually making incredible journeys to faraway lands every autumn.

17) 1822年になってはじめて、鳥の渡りの確固たる証拠が発見された。18) アフリカでしか見られない木から作った矢で撃たれた鳥がドイツで発見されたのだ。19) まさにこの出来事は、実は鳥が毎年秋に遠く離れた土地まで信じられないような旅をしていると、世の中の人たちを納得させるのに役立ったのだ。

- 17) ・ 空所(5)については、設問別解説 参照。
- 18) ・ that had been ... in Africa は A bird を先行詞とする関係代名詞節。この節内の that is found only in Africa は a tree を先行詞とする関係代名詞節。
- 19) ・ 強調構文 (it is [was] + 強調される要素 + that ...) が用いられている。ここでは、強調される要素が this event で、This event helped to convince ... の主語が強調されている。
- ・ helped to convince the world that birds ... は、convince O that S V ... 「Oに…ということを納得させる」の表現を用いたもの。
- solid evidence 「確固たる証拠」
  - be shot with A 「Aで撃たれる」
  - arrow 「矢」
  - make a journey to A 「Aまで移動する、旅をする」
  - incredible 「信じられない、途方もない」
  - faraway 「遠く離れた」

#### 設問別解説

##### (1) ★★★

#### ポイント

- ・ all を先行詞とする関係詞節

空所の直後に they knew 「彼らは知っていた」とあるが、直前の第4)文には (most people) had extremely limited knowledge about other countries and regions 「ほとんどの人は他の国や地域についての知識が極めて限られていた」とあることから、All

they knew was that ... とすれば、「彼らが知っていたのは…だけだった」となって、文脈に合う英文となる。〈all+関係詞節〉の形で「…するのはただ(〜だけ)」という意味を表す。したがって、(イ)が正解。

▶第5)文の文構造は、All they knew が(S), was が(V), that many birds ... to find が(C)となり、(C)にあたる2つの名詞節 that many birds ... と that no matter how ... が and によって並列されている。

▷他の選択肢は文が成立しないので不可。

(2) ★☆☆

**ポイント**

- ・アリストテレスが考えた「鳥が秋に姿を消す」もう1つの理由は？

空所を含む文の文構造は、Another of his ideas(S), was(V), that birds' bodies ( 2 ) ... the season(C)である。補語となる that 節内は、birds' bodies(S), ( 2 )(V), 'depending on ... となり、空所には動詞が入ることになる。意味は、「彼のもう1つの考えは、鳥の体が季節によって( )というものだった」となる。「彼(=アリストテレス)のもう1つの考え」というのは、「なぜ鳥が秋になると姿を消すか」という疑問に対する説明であるため、changed「変化した」とすれば「1つの説明」になるのではないかと考えられる。さらに手がかりを求め、直後の第10)文の文意を確認すると、「彼は、ニワムシクイと呼ばれる夏季に見られる鳥は、実は冬に見られるズグロムシクイと呼ばれる鳥に変わるのだと考えていた」とあり、「鳥の体に変化する」という考えを具体的に説明した文になっていることから、(ア)が適切な語であることが確認できる。

▷(イ)の revived は revive「生き返る」の過去形・過去分詞形、(ウ)の grew は grow「成長する」の過去形、(エ)の froze は freeze「凍る」の過去形であり、いずれも文脈に合わない。

(3) ★☆☆

**ポイント**

- ・as with A「Aと同様に」

空所を含む文は、As ( 3 ) Aristotle に、副詞節である although his theory was inaccurate と、主節の it was based on observations and logic が後続している。as with A は、「Aの場合と同様に」という意味を表すことから、As with Aristotle とすれば、「ア

リストテレスの場合と同様に、彼の説は正しくはなかったものの、観察と論理に基づいていた」となり文意が通る。よって、(ア)が正解。

▷(イ)の of は as of A「Aの時点で」という意味になり不適。

▷(ウ)の to は as to A「Aに関して」という意味になり不適。

▷(エ)の if は as if S V ...「まるで…するように」という使い方をするので不適。

(4) ★☆☆

**ポイント**

- ・形式主語構文と make を用いた表現

空所を含む文の意味は、「鳥は完全に姿を消すように見えたので、鳥が地球を離れたということは( )、月が鳥の到達できそうな最も近い目的地であった」であり、make sense「理にかなう、意味を成す」という表現を用いれば、it が形式主語、that they had left the earth が真主語にあたる形式主語構文になり、「鳥は完全に姿を消すように見えたので、鳥が地球を離れたということは理にかなっており、…」という意味の文脈に沿った英文が完成する。よって、(ア)が正解。

▷(イ)の progress は、make progress で「進歩する」という意味になるが、文意に合わないため不適。

▷(ウ)の difference は make a difference「違いが生じる」という形で使われる。

▷(エ)の sure は make sure that S V ... という形はあるが、「…を確かなものにする」という表現で不適。

(5) ★☆☆

**ポイント**

- ・solid 何が発見されたのか？

直後の第18)文に「アフリカでしか見られない木から作った矢で撃たれた鳥がドイツで発見された」とあり、このことは続く第19)文に「鳥が毎年秋に遠く離れた土地まで信じられないような旅をしていると、世の中の人たちを納得させるのに役立った」とあるように、鳥が途方もない距離を飛んで渡ることの明確な裏づけとなるものである。よって、空所には evidence「証拠」を入れるのが最も適切だとわかる。したがって、(エ)が正解。

なお、空所を含む文は、〈It is not until ... that ~〉「…してはじめて～」という表現を用いたもので、副詞句の until 1822 が強調される要素となって、さらに

否定語の not が繰り上がった形になっている。solid は「固形の、確固たる」という意味の形容詞で、文全体の意味は「1822 年になってはじめて、鳥の渡りの(最初の)確固たる証拠が発見された」となる。

▷(ア)の biology「生物学」、(イ)の object「物体」、(ウ)の mystery「謎」はいずれも文意に合わないため不適。

### ③ 文法・語法

知識・技能 文法・語法・構文を活用する力

#### ▶ 解答 ▶

【配点】(20点)

- A 1. (ア) 2. (ア) 3. (ウ) 4. (エ)  
5. (ア) 6. (ウ) 7. (ウ) 8. (ア)  
B 1. (ア) 2. (ウ)

#### 設問別解説

##### A 空所補充選択問題 (2点×8)

###### 1. ★☆☆

My brother's salary is (larger) than mine.

「私の弟の給料は私よりも高い」

- (ア) larger (イ) even cheaper  
(ウ) more expensive (エ) a little high

#### ポイント

・ salary (給料) が「高い」、「安い」の表現

salary「給料」が「高い」、「安い」という場合、expensive や cheap を用いず、large — small, high — low などを用いる。ここでは、than mine (= than my salary) という表現から比較級を用いる必要があるの  
で、(ア)が正解。

▶ salary 以外に、large や small を用いて「多い・少ない」を表す主な名詞には、amount「量」、audience「観衆」、income「収入」、number「数」、population「人口」、quantity「量」、sum「総計」などがある。

###### 2. ★☆☆

If you want to avoid waiting in line, you need to pay (another) ten dollars to get a special ticket.

「列に並んで待ちたくなければ、特別チケットを入手するのにさらに 10 ドル支払う必要があります」

- (ア) another (イ) other  
(ウ) the other (エ) more

#### ポイント

・ another + 数詞 + 複数名詞

通常、another は単数名詞とともに用いられるが、another に〈数詞 + 複数名詞〉が後続して、「追加の…、さらに…」を意味することがある。本問では、ten dollars が後続しているため、another ten dollars とすれば「さらに 10 ドル」となり、文意が通る。よって、(ア)が正解。

▷(エ)の more は、ten more dollars という語順であれば、another ten dollars と同様の意味になるが、ここでは語順が異なるので不可。

###### 3. ★★★

(Should) you need any assistance, please do not hesitate to contact our support staff.

「何らかの手伝いが必要であれば、ご遠慮なくサポートスタッフまでお知らせください」

- (ア) Could (イ) Might  
(ウ) Should (エ) Would

#### ポイント

・ 倒置による if の省略

起こる可能性が低いと思われる話者の気持ちを表すのに、if 節中で助動詞の should が使われることがある。本問は条件を示す if 節の if が省略され、Should を節の先頭に置いた倒置形になっていると考えれば、文意が通る。以上から、(ウ)が正解。

▶ 本問で用いられている should については、〈If S should do …, S + 助動詞の過去形[現在形] + do ~ / 命令文〉の形で用いて、「もし仮に…とすれば、〜」という意味になる。

▷(ア)の Could、(イ)の Might、(エ)の Would には、ここでの should のような使い方はないため不適。

###### 4. ★☆☆

She got injured and was unable to play for the (rest) of the season.

「彼女は怪我をし、残りのシーズンは競技ができなかった」

- (ア) remain (イ) sake  
(ウ) least (エ) rest

#### ポイント

・ 「残り」を表す名詞



the rest of A は、「A の残り」という意味を表すことがあり、空所に rest を入れると for the rest of the season 「シーズンの残りの期間」となり、文意が通る。よって、(x) が正解。

▷(ア)の remain は、複数形で「残り物、遺跡」などの意味で使われることはあるが、「…の残り、その他のもの」という意味で用いることはないので不可。

▷(イ)の sake は、for the sake of A で「A のために」という意味になるため、文意が合わない。

▷(ウ)の least は名詞で用いる場合「最小のもの」という意味になり、文意が合わない。

▶the rest of A は以下のような意味で使われることが多い。

[例] What do you want to do for the rest of your life?

(あなたは今後の人生で何をしたいですか)

## 5. ★★☆☆

Every weekend, the family enjoys watching birds (fly) in the woods.

「毎週末、その家族は森で鳥が飛ぶのを観察して楽しむ」

(ア) fly (イ) to fly

(ウ) flew (エ) to have flown

### ポイント

・ watch O do

文の意味は、「毎週末、その家族は森で鳥が( ) 観察して楽しむ」で、watch+O+do / doing / done の形をとる知覚動詞の watch が用いられている。本問では、空所に動詞の原形である fly を入れることで、「森で鳥が飛ぶのを見る」となり、文意が通る。したがって、(ア)が正解。

▷(イ)の to fly および (エ)の to have flown は、O に不定詞が後続することになり、不可。

▷(ウ)の flew は動詞 fly の過去形であり、文が成立しないので不可。

▶知覚動詞の用法については、以下の **File** 参照。

### File 知覚動詞+O+do / doing / done

V(動詞)+O(目的語)+do / doing / done の形で用い、知覚の意味を表す動詞を知覚動詞と言う。主な動詞は以下の通り。

see「見える」/ watch「見る」/ look at「見る」  
/ hear「聞こえる」/ listen to「聞く」/ feel「感じる」など

知覚動詞の目的語とその後に来る動詞の形(do / doing / done)との関係は以下の通り。

#### (1) 知覚動詞+O+do(原形)

[例] Every morning I hear the dog bark.  
O do

「毎朝その犬が吠えるのが聞こえる」

・目的語(O)と do の間に「O が…する」という能動の意味関係がある。

#### (2) 知覚動詞+O+doing(現在分詞)

[例] I saw the girls running in the park.  
O doing

「私はその女子たちが公園で走っているのを見た」

・目的語(O)と doing の間に「O が…している」という能動の意味関係がある。

#### (3) 知覚動詞+O+done(過去分詞)

[例] I heard my name called.  
O done

「私は自分の名前が呼ばれるのが聞こえた」

・目的語(O)と done の間に「O が…される」という受動の意味関係がある。

## 6. ★★☆☆

Stock prices have started to bounce back and (are sure to rise) further.

「株価が回復しはじめていて、さらに上昇するのは確実である」

(ア) sure to rising (イ) are surely rise

(ウ) are sure to rise (エ) sure of rising

### ポイント

・ be sure to do

be sure to do で「必ず…する、確実に…する」という表現。have started to bounce back と are sure to rise further が and で並列されていると考ええると文意も通る。よって、(ウ)が正解。

▷(ア)の sure to rising は、be 動詞が用いられておらず、to の直後が rising となっていることから不適。

▷(イ)の are surely rise は、副詞の surely を挟んで be 動詞と原形動詞を並べて使う形になっており、文が成立しないため不可。

▷(エ)の sure of rising は、be sure of doing で「(Sは)…することを確信している」という表現になるが、本問では文意が通らず be 動詞も用いられていないため、文法的にも不可。

## 7. ★★★

We will inform you of the result, whatever it (turns) out to be.

「どんな結果になっても、私たちはあなたにその結果をご報告いたします」

- (ア) carries (イ) keeps  
(ウ) turns (エ) looks

### ポイント

・turn out to be ... の表現

turn out to be ... で「…だとわかる、…となる」という意味の表現。空所に(ウ)の turns を入れると、whatever it turns out to be「結果がどんなものになっても」という意味になり、文意が通る。whatever は副詞節で用いられると、「(たとえ)どんなことが[を]…しても」という意味になる。

▶ inform は inform O of A の形で「O に A を知らせる」という意味。

▷(ア)の carries, (イ)の keeps, (エ)の looks はいずれも文意が通らないので不適。

## 8. ★★★

Social bees, (of which) bumblebees and honeybees are best-known, are species that live in colonies.

「社会性ミツバチは、マルハナバチやミツバチがもっともよく知られているが、それらは集団で暮らす種である」

- (ア) of which (イ) to which  
(ウ) of what (エ) to what

### ポイント

・〈前置詞＋関係代名詞〉の非制限用法

主語の Social bees の直後にコンマが置かれ、( ) bumblebees and honeybees are best-known が主語を補足説明する挿入節になっている。主語であり、先行詞となる Social bees「社会性ミツバチ」と、空所以下の bumblebees and honeybees are best-known「マルハナバチやミツバチがもっともよく知られている」の意味のつながりを考えると、「social bees には bumblebees や honeybees がいて、その2つの種がよく知られている」と考えることができるので、of which を空所に入れて、「社会性ミツバチ、そ

の中でマルハナバチやミツバチがもっともよく知られているが、…」とすると全体の文構造、意味ともに成立する。よって、(ア)が正解。of which の of は「…の中で」という意味で用いられている。

▷(イ)の to which を空所に入れると、「社会性ミツバチにとって、マルハナバチやミツバチがもっともよく知られているが、…」となり、文意が通らない。

▷(ウ)の of what および(エ)の to what は、what を関係代名詞と考えても疑問代名詞と考えても、文が成立しないので不可。

## B 正誤選択問題 (2点×2)

### 1. ★☆☆

(ア) Annoying by the noise (イ) during the road works, the local residents (ウ) nearby made a complaint (エ) to the town hall.

「道路工事中の騒音にいらいらし、近隣の地元住民たちは市役所に苦情を言った」

### ポイント

・分詞構文の意味上の主語

Annoying ... road works の意味上の主語は、文の主語である the local residents nearby「近隣の地元住民たち」なので、このままでは「道路工事中の騒音によって近隣の地元住民たちが苛立たせて、…」となるため、(ア)の Annoying を Annoyed としなければ、文意が成立しない。

[正しい文] Annoyed by the noise during the road works, the local residents nearby made a complaint to the town hall.

▷(イ)の during は「…の間の」という意味の前置詞。(ウ)の nearby は「近くの」という意味で the local residents を修飾する。(エ)の to は make a complaint to A「A に苦情を言う」という表現の一部。

### 2. ★☆☆

"Yesterday," by Paul McCartney, (ア) has been recorded by more than two thousand artists and (イ) played six million times on American radio—two million times more than (ウ) any other songs (エ) ever written.

「ポール・マッカートニーの『イエスタデイ』は、2,000人以上のアーティストによってレコーディングされ、アメリカのラジオで600万回放送された。これは、これまで作られたどんな曲よりも

200万回以上多い」

### ポイント

・than any other+可算名詞の単数形

any には、可算名詞の単数形を後続させ「どんな…も」の意味となる使い方がある。これは比較級の表現でも〈... than any other+可算名詞の単数形〉「他のどんな…より」という形でよく用いられる。以上から、(ウ)の any other songs は any other song とするのが正しい形となる。

[正しい文] “Yesterday,” by Paul McCartney, has been recorded by more than two thousand artists and played six million times on American radio — two million times more than any other song ever written.

▷(ア)の has been recorded は受動態の現在完了形。(イ)の played は “Yesterday” を主語とし、and で recorded と並列されている。(エ)の ever written は直前の song を修飾する過去分詞句。

## 4 長文総合問題

思考力・判断力 英文を読解する力

### ▶ 解答 ▶

問1 私たちにできることで、自分の免疫系を強化できることがたくさんある。

問2 (ア)

問3 (ウ)

問4 私たちがある病気に初めてかかったとき、適応免疫はその病気との闘い方を覚えるのにしばらく時間を要する。

問5 年をとるにつれて免疫系が衰え、感染症にかかりやすくなること。(30字)

問6 (エ)

問7 食物繊維、植物質、発酵食品を多く含む、健康的で多様性のある食事を摂ること。(37字)

問8 it's as easy as a walk in

### テーマ

私たちの身体には、病原体や異物から身を守る「免疫」という防御システムが備わっている。健康でいられるのは免疫の働きがあるからこそだが、ふだんそれを意識することはない。この文章では、2種類の免疫反応についての説明と、免疫年齢を若々しく保つ方法が述べられている。いま若い皆さんは自身の免疫の機能など気にしていないかもしれないが、年を重ねても病気にかかりにくい体を保つための知識として参考になるかもしれない。

[出典] *The immune system: How to boost it and lower your immune age.* New Scientist

### 配点

(60点)

問1 8点 問2 5点 問3 5点

問4 12点 問5 10点 問6 5点

問7 10点 問8 5点

### 本文解説

#### 〈第1段落〉

1) One of the most important things standing between you and a deadly infection is your immune system — the intricate, biological defence mechanism that protects your body from harmful invaders. 2) And <sup>(1)</sup>there's a lot we can do to give our immune system a helping hand.

1) 死をもたらすような感染症とあなたとの間に立ちをはかる最も重要なものの1つは免疫系で、これは有害な侵入者から体を守る、複雑に入り組んだ生体防御メカニズムである。2) そして、私たちにできることで、自分の免疫系を強化できることがたくさんある。

1) ・standing between you and a deadly infection は the most important things を修飾する現在分詞句。

● deadly「命にかかわる、致命的な」  
● infection「感染(症)」

- ・ダッシュ(—)以下は your immune system を補足説明している。
  - ・that protects your body from harmful invaders は the intricate, biological defence mechanism を修飾する関係代名詞節。
- 2) ・下線部(1)については、**設問別解説** 参照。

- immune system 「免疫系」
- intricate 「入り組んだ、複雑な」
- biological 「生物学(上)の、生物学的な」
- defence 「防 御、防 衛」 defense のイギリス綴り
- protect O from A 「O を A から守る」
- harmful 「有害な」
- invader 「侵略者、侵入者」

〈第2・3段落〉

3) Your immune system is made up of two divisions, the innate immune system and the adaptive immune system, each with its own battalion of specialist cells and defensive weapons.

4) The innate immune system is the first line of defence. 5) It's made up of cells like the macrophage and the neutrophil. 6) These general-purpose guards patrol the bloodstream and are always <sup>(2)</sup>on the lookout for anything that shouldn't be there. 7) When they detect an intruder, they neutralise the threat by engulfing it like Pac-Man, spraying it with deadly chemicals or suicidally expelling their DNA and throwing it around the invader like a net.

3) 免疫系は2つに区分できるしくみ、つまり自然免疫と適応免疫で成り立っており、そのそれぞれには独自の専門的な細胞の戦闘部隊と防御のための武器が備わっている。

4) 自然免疫は最初の防御ラインである。 5) これはマクロファージや好中球などの細胞で構成されている。 6) これらの汎用型の番人は血流の中を巡回し、そこにあってはならないものを常に警戒している。 7) それらの番人は侵入者を感知すると、パックマンのようにそれを飲み込んだり、非常に強力な化学物質を吹きつけたり、自分を犠牲にしてDNAを放出し、それを網のように使って侵入者に絡みつけたりすることによって、脅威を無力化する。

- 3) ・コンマ(,)に続く the innate immune system and the adaptive immune system は直前の two divisions と同格の関係。
- ・each with ... は「それぞれの免疫が...を備えていて」という意味。
- 6) ・patrol the bloodstream と are always on the lookout for ... が and によって並列されている。
- ・下線部(2)については、**設問別解説** 参照。
- ・that shouldn't be there は anything を修飾する関係代名詞節。
- 7) ・動名詞句 engulfing it like Pac-Man と spraying it with deadly chemicals と (suicidally) expelling their DNA and throwing ... が or によって並列されて、前置詞 by に後続している。

- be made up of A 「A でできていて、A で構成されている」
- division 「区分、部門」
- specialist 「専門家」
- defensive 「防御的な、防御用の」
- weapon 「武器、対抗手段」
- general-purpose 「多目的の、汎用の」
- guard 「守衛、番人」
- patrol O 「O を巡回する」
- detect O 「O を見つける、感知する」
- intruder 「侵入者」
- neutralise O 「O を中和する、無力化する」 neutralize のイギリス綴り
- threat 「脅迫、脅威」
- engulf O 「O を飲み込む」
- spray O with A 「O に A を吹き」

つける」

- chemicals 「化学物質」
- suicidally 「自滅的に」
- expel O 「O を排出する, 放出する」

〈第4・5段落〉

8) Then there's the adaptive immune system, which contains cells that act as the immune system's special forces; elite agents trained to fight specific pathogens. 9) ( 3 ) the cells of the innate immune system, which can attack any invading cell or virus, these cells are only effective against one enemy, and they must be trained first to destroy the enemy.

10) When we encounter a disease for the first time, it takes a while for the adaptive immune system to learn how to fight it. 11) But once it's up and running, it creates a memory, allowing a fast and brutal response to a future infection — often neutralising it before you even notice. 12) This is the premise of vaccines and the reason why you only get diseases like chicken pox once.

8) 次に適応免疫があり, その中には免疫系の特殊部隊, つまり特定の病原体と戦うよう訓練されたエリート工作員の役目をする細胞が存在する。9) あらゆる侵入者の細胞やウイルスを攻撃することができる自然免疫の細胞とは異なり, これらの細胞は1種類の敵に対してのみ効力を持ち, 敵をやっつけるためにまず訓練される必要がある。

10) 私たちがある病気に初めてかかったとき, 適応免疫はその病気との闘い方を覚えるのにしばらく時間を要する。11) しかし, ひとたび出来上がって機能するようになると, 適応免疫は記憶を持ち, これによって後の感染に対して素早く強力に反応することが可能となり, 私たちが気づきさえしないうちにそれがおさまることもよくある。12) これが予防接種の前提となっているしくみであり, たとえば水ぼうそうのような病気には一度しかかからない理由である。

- 8) ・ which contains cells that act as the immune system's special forces は the adaptive immune system を補足説明する非制限用法の関係代名詞節。that act as the immune system's special forces は cells を修飾する関係代名詞節。
- ・ trained to fight specific pathogens は elite agents を修飾する過去分詞句。
- 9) ・ 空所(3)については, 設問別解説 参照。
- ・ which can attack any invading cell or virus は the cells of the innate immune system を補足説明する非制限用法の関係代名詞節。
- 10) ・ 下線部(4)については, 設問別解説 参照。
- 11) ・ once it's up and running の once は「いったん…すると」の意味の接続詞。it は第10)文の the adaptive immune system を指している。
- ・ allowing a fast and brutal response to a future infection は, 前で述べた内容の結果を表す分詞構文。ダッシュに続く often neutralising it before you even notice は allowing a fast and brutal response to a future infection に情報を追加している。
- 12) ・ the premise of vaccines と the reason why ... が and によって並列されている。
- ・ why you only get diseases like chicken pox once は the reason を修飾する関係副詞節。

- contain O 「O を含む, 持っている」
- act as C 「C の役目を務める」
- force 「兵力, 部隊」
- elite agent 「エリート工作員」
- train O to do 「O を…するように訓練する」
- virus 「ウイルス」
- effective against A 「A に対して効果的な」
- enemy 「敵, 害を与えるもの」
- destroy O 「O を破壊する, 滅ぼす」
- encounter O 「O に偶然出会う, 遭遇する」
- a while 「一定の時間」
- up and running 「順調に作動して」
- brutal 「野蛮な, 容赦ない」
- response to A 「A に対する反応」
- premise 「前提」
- vaccine 「ワクチン」

〈第6段落〉

13) Your immune system works so well that, most of the time, you won't even notice it. 14) But it weakens as you get older, making you more susceptible to infection. 15) <sup>(5)</sup> This decline happens to all of us, but it can be accelerated by lifestyle factors like smoking and inactivity.

13) 免疫系は非常に上手く機能しているので、ふだんあなたはそのことに気づきさえしないだろう。14) しかし、年をとるにつれて免疫系は衰え、人は感染症にかかりやすくなる。15) このような機能の低下は私たち皆に起こることなのだが、喫煙や運動不足のような生活習慣上の要因によって、それが加速されることもある。

- 13) ・so ... that S V ～「非常に…なので～」の構文が用いられている。  
14) ・as you get older において as は〈比例〉を表す接続詞、get older は get C 「Cになる」を用いた表現。  
・making you more susceptible to infection は、前の内容の結果を表す分詞構文。make O C 「OをCにする」が用いられており you が O, more susceptible ... が C にあたる。  
15) ・下線部(5)については、設問別解説 参照。

- weaken 「弱まる、衰弱する」
- susceptible to A 「Aの影響を受けやすい、Aに感染しやすい」
- accelerate O 「Oを加速する、早める」
- inactivity 「不活発、怠惰」

〈第7段落〉

16) Scientists have recently developed ways to measure your immune age. 17) Fortunately, it turns out your immune age can go down as well as up. 18) And there are some simple ways to turn back the clock on your immune system.

16) 科学者たちは最近になって、免疫年齢を測定する方法を開発した。17) 幸いなことに、免疫年齢は上がることもあれば下がることもあると判明している。18) そして、免疫年齢を若返らせる簡単な方法がいくつかある。

- 17) ・it turns out your immune age can go down as well as up には it turns out (that) S V ... 「…ということが判明する、わかる」の構文が用いられている。副詞の down と up が as well as によって並列され、それぞれ go に後続している。  
18) ・turn back the clock on your immune system は、文字通りには「免疫年齢の時計を巻き戻す」という意味だが、「免疫年齢を若返らせる」ということ。

- measure O 「Oを測る」
- A as well as B 「BだけでなくAも、AもBも」

〈第8段落〉

19) One simple, drug-free way to do it is exercise. 20) A study in older adults showed that those who averaged 10,000 steps a day had neutrophils that were as functional as those of a young adult. 21) Exercise also has benefits for your T cells. 22) Before they are released for active duty, T cells mature in an organ called the thymus gland. 23) The thymus gland degenerates over time, resulting in a drop-off in the number of T cells. 24) Physical activity has a huge effect on the rate of this degeneration. 25) A study found that amateur cyclists aged between 55 and 79 had youthful thymus glands and their T-cell counts were similar to <sup>(6)</sup> those of much younger people.

19) 薬に頼らずにできる1つの簡単な方法は、運動をすることだ。20) 高齢者に対するある研究では、1日に1万歩平均して歩く人たちは、若者の好中球と同じくらいよく機能する好中球を持っていることが示された。21) 運動はまた、T細胞に対しても良い効果をもたらす。22) T細胞は任務につくために放出される前に、胸腺と呼ばれる器官で成熟する。23) 胸腺は時間の経過とともに衰え、それによってT細胞の数の減少が起こる。24) 身体の活動は、この衰えの速度に対して大きな効果を持つ。25) ある研究で、自転車に乗ることを趣味としている55歳から79歳の人たちは若々しい胸腺を保持しており、彼らのT細胞の数はずっと若い人のものと同等であることがわかった。

- 20) ・ those who averaged 10,000 steps a day には those who ... 「…する人たち」という表現が用いられている。a day は「1日につき」の意味。
- ・ that were as functional as those of a young adult は neutrophils を修飾する関係代名詞節。ここでの those は neutrophils を表している。
- 22) ・ called the thymus gland は an organ を修飾する過去分詞句。
- 23) ・ resulting in a drop-off in the number of T cells は結果を表す分詞構文。
- 25) ・ 下線部(6)については、**設問別解説** 参照。
- ・ much younger people の much は直後の比較級 younger を強調している。

- average O「平均して O(数)になる」
- functional「機能を果たせる」
- release O「Oを解放する, 放出する」
- active duty「軍務, 任務」
- mature「成熟する」
- degenerate「退化する, 劣化する」
- rate「割合, 速度」
- amateur「アマチュアの」
- aged ... 「(数詞の前で)…歳の」
- youthful「若々しい, 元気な」
- count「数えること, 総数」
- be similar to A「Aに類似している, Aと同様である」

#### 〈第9段落〉

26) Another key factor in your immune age is your gut bacteria. 27) There is good evidence that poor gut health is a cause of premature ageing and that <sup>(7)</sup>a healthy microbiome can reduce your immune age. 28) Eating a healthy, varied diet rich in fibre, plant matter and fermented foods can help maintain a healthy community of gut microbes.

26) 免疫年齢に関わるもう1つの大事な要素は、腸内細菌である。27) 腸の不健康が早期の老化の原因となることや、健全な微生物叢が免疫年齢を下げる可能性があることを示す十分な証拠がある。28) 食物繊維、植物質、発酵食品を多く含む、健康的で多様性のある食事を摂ることは、健全な腸内微生物環境を維持するのに役立つ可能性がある。

- 27) ・ and によって並列されている that poor gut health is a cause of premature ageing と that a healthy microbiome can reduce your immune age は、ともに good evidence を説明する同格節。
- ・ 下線部(7)については、**設問別解説** 参照。
- 28) ・ 動名詞句の Eating a healthy, varied diet rich in fibre, plant matter and fermented foods がこの文の主語。形容詞の healthy と varied がコンマによって並列され、ともに diet を修飾している。また、形容詞句 rich in fibre, plant matter and fermented foods も diet を修飾している。
- ・ help maintain a healthy community ... には help do 「…するのに役立つ」が用いられている。

- evidence「証拠」
- premature「時期尚早の, 早すぎる」
- ageing「老化, 高齢化」aging のイギリス綴り
- varied「さまざまな, 変化のある」
- fibre「繊維, 食物繊維」fiber のイギリス綴り
- matter「物質, 要素」
- maintain O「Oを維持する」
- microbe「微生物」

#### 〈第10段落〉

29) Your body has a highly evolved, intricate defence system that's effective at keeping you well, but only if you look after it. 30) Looking after your immune system is a no-brainer, and <sup>(8)</sup>[a / in / easy as / it's / walk / as] the park.

29) 人の体には健康を維持するのに効力のある、高度に発達し、複雑に入り組んだ防御システムが備わっているが、それが効力を発揮するのは、あなたがそれを適切に管理している場合だけだ。30) 免疫系を適切に管理するというのは何も難しいことではなく、公園を散歩するくらい容易なことだ。

- 29) ・ that's effective at keeping you well ... は a highly evolved, intricate defence system を修飾する関係代名詞節。keep O C「OをCに保つ」が用いられており、you が O, well が C にあたる。

- look after A「Aの世話をする, Aに気をつける」
- no-brainer「明白なもの, 簡単に」

but 以下は but (is effective) only if you look after it のように考  
えるといふ。

できること」

30)・下線部(8)については、設問別解説 参照。

## 設問別解説

### 問1 下線部和訳問題 ★★★

下線部(1) there's a lot we can do to give our immune system a helping hand を和訳せよ。

#### ポイント

- ・形容詞節を見抜く
- ・give O a helping hand

訳出のポイントは以下の通り。

- ・there's a lot we can do には there is S「Sがある」の構文が用いられていて、a lot「たくさん」がSにあたり、we can doはa lotを先行詞とする形容詞節である。よってこの部分は「私たちができるたくさんあること」や「私たちにできることがたくさんある」のように訳せる。
- ・不定詞句 to give our immune system a helping hand では、give O a helping hand「Oに援助の手を差しをける」の表現が用いられている。本文全体の内容から判断すると、この不定詞句はa lot we can doを修飾していると考えられるため、この部分は文字通りに「私たちの免疫系に援助の手を差しをける、(私たちにできるたくさんあること)」のように訳してもよいし、免疫系を維持管理するために行うことに言及している本文の内容に即して「(私たちにできることで、)自分の免疫系を強化できる(ことがたくさんある)」のように訳すこともできる。

以上から、下線部全体は「私たちにできることで、自分の免疫系を強化できることがたくさんある」と訳出できる。

### 問2 下線部同義語句選択問題 ★☆☆

下線部(2) on the lookout for の意味に最も近い語句を、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| (ア) alert for   | (イ) dependent on |
| (ウ) ignorant of | (エ) visible to   |

#### ポイント

- ・lookout とは何か

lookout には「見張り、用心」などの意味があり、on the lookout for A で「Aを警戒して、用心して」の表現となる。alert for A は「Aを警戒して」という意味なので、(ア)が正解。

▶下線部を含む第6)文中の guards「番人」、patrol the bloodstream「血流の中を巡回する」、anything that shouldn't be there「そこにあってはならないもの」という語句から、on the lookout for A の意味を推測することもできる。

▷(イ)の dependent on「…に依存して」、(ウ)の ignorant of「…を知らない」、(エ)の visible to「…に対して見える」は、いずれも文脈に合わないため不可。

### 問3 空所補充選択問題 ★☆☆

空所(3)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- |             |            |
|-------------|------------|
| (ア) Despite | (イ) During |
| (ウ) Unlike  | (エ) Within |

#### ポイント

- ・後続する対照的な内容を読み取る

空所を含む第9)文の主語 these cells は、第8)文の cells that act as the immune system's special forces を指しており、these cells are only effective against one enemy は「(適応免疫の中にあり、免疫系の特殊部隊として働く)これらの細胞は1種類の敵に対してのみ効力を持つ」という意味。空所直後の the cells of the innate immune system, which can attack any invading cell or virus は「あらゆる侵入者の細胞やウイルスを攻撃することができる自然免疫の細胞」という、主語以降の部分とは対照的な意味である。そこで空所に Unlike「…とは異なり」を入れると、「汎用性のある自然免疫の細胞とは異なり、適応免疫の細胞は侵入者に対する特異性を持つ」という対照を表す文が成り立つ。したがって、(ウ)が正解。

### 問4 下線部和訳問題 ★☆☆

下線部(4) When we encounter a disease for the first time, it takes a while for the adaptive immune system to learn how to fight it. を和訳せよ。



## ポイント

- ・ it takes O for A to do
- ・ how to do

訳出のポイントは以下の通り。

・ When we encounter a disease for the first time は〈時〉を表す副詞節である。for the first time は「初めて」という意味なので、この部分は文字通りには「私たちがある病気に初めて出会うとき」だが、文章の内容から判断して「私たちがある病気に初めてかかったとき」のように訳すことができる。

・ it takes a while for the adaptive immune system to learn には it takes O for A to do 「A が…するのに O (時間, 労力など) を要する」の表現が用いられている。O にあたる a while は「一定の時間, しばらく」という意味なので、この部分は「適応免疫が…を覚えるのにしばらく時間を要する」とすればよい。

・ learn の目的語にあたる how to fight it は how to do 「…の仕方, …する方法」を用いた表現で, it が a disease を指すため, この部分は「その病気との闘い方」のように訳せる。

以上から, 下線部全体は「私たちがある病気に初めてかかったとき, 適応免疫はその病気との闘い方を覚えるのにしばらく時間を要する」と訳出できる。

### 問5 下線部内容説明問題 ★☆☆

下線部(5) This decline はここでは具体的にどのようなことか, 30 字程度の日本語で説明せよ。

## ポイント

- ・ 「衰え」に関する記述を見つける

下線部の This decline は「この衰え, 低下」という意味。衰えや低下についての記述を求めると, 直前の第 14) 文に it (= your immune system) weakens as you get older, making you more susceptible to infection 「年をとるにつれて免疫系は衰え, 人は感染症にかかりやすくなる」とある。よって, この部分をまとめて「年をとるにつれて免疫系が衰え, 感染症にかかりやすくなること。」(30 字) のように書けばよい。

### 問6 下線部指示語句選択問題 ★☆☆

下線部(6) those が表す語句を, 次の(ア)~(エ)の中から 1 つ選び, 記号で答えよ。

- (ア) benefits

- (イ) amateur cyclists
- (ウ) thymus glands
- (エ) T-cell counts

- (ア) 恩恵
- (イ) 自転車に乗ることを趣味としている人
- (ウ) 胸腺
- (エ) T 細胞の数

## ポイント

- ・ 当てはめて文意が通る複数形の名詞は?

those には既出の複数形の名詞を置き換える働きがある。下線部を含む第 25) 文 ... amateur cyclists aged between 55 and 79 had youthful thymus glands and their T-cell counts were similar to those of much younger people. で those の部分に T-cell counts を当てはめると, 「自転車に乗ることを趣味としている 55 歳から 79 歳の人たちは若々しい胸腺を保持しており, 彼らの T 細胞の数はずっと若い人の T 細胞の数と同等である…」となって文意が通る。したがって, (エ) が正解。

### 問7 下線部説明問題 ★★★★★

下線部(7) a healthy microbiome を保持するためには何をすればよいと述べられているか, 本文に即して具体的に 40 字程度の日本語で説明せよ。

## ポイント

- ・ 直後の文の a healthy community of gut microbes に注目する

第 26) 文に「腸内細菌は免疫年齢に関わる大事な要素だ」という内容, そして下線部を含む第 27) 文には「腸の健康状態が良くないと早期の老化が起こるが, 『健全な微生物叢』は免疫年齢を下げる」という内容が述べられている。よって, 『健全な微生物叢』とは「免疫の老化を抑える, 腸内に細菌がいる状態」だと考えることができる。このことを念頭に置いて, 後続する第 28) 文を見ると ... can help maintain a healthy community of gut microbes 「…が健全な腸内微生物環境を維持するのに役立つ可能性がある」とあり, これが a healthy microbiome を保持することについて書かれた部分だとわかる。したがって, この文の主語である Eating a healthy, varied diet rich in fibre, plant matter and fermented foods をまとめて「食物繊維, 植物質, 発酵食品を多く含む, 健康的で多様性

のある食事を摂ること。」(37字)のように書けばよい。  
▶「微生物叢」とは「生態系における生きた微生物の集合」のことで、動植物の体表面や体内にも存在する。

#### 問8 語句整序問題 ★★☆☆

下線部(8)の[a / in / easy as / it's / walk / as]内の語句を並べ換えて、文脈に合う英文を完成せよ。

#### ポイント

・同等比較

与えられた語群に it's があるため、これを S V とし、it's に後続するものを求めると形容詞 easy がある。語群では easy as となっているため、この前に as を置いて同等比較の表現にすると判断できる。it's as easy as 「…と同じくらい容易である」の後ろに a walk in (the park) 「(公園)での散歩」を置くと、Looking after your immune system is a no-brainer, and 「免疫系を適切に管理するというのは何も難しいことではなく」に後続する適切な文意となる。よって、it's as easy as a walk in が正解。

### 5 長文総合問題

思考力・判断力 英文を読解する力

#### ▶解答▶

- 問1 entrenched  
問2 彼は、両親が貧しいために夫を見つけることなんてできないと考えて絶望している友人を見た。  
問3 持参金をさらに1万ルピー出さないと結婚を取りやめると花婿が要求しているということ。(41字)  
問4 (エ)  
問5 (ア)  
問6 (ウ)  
問7 持参金を受け入れるのは恥ずかしいことだとインド人が思うようにする努力をせずに、それを違法にしても意味がないのだ。  
問8 持参金の風習をやめようという意識がインド全体に広がること。(29字)

#### 配点

(60点)

問1 5点	問2 10点	問3 10点
問4 5点	問5 5点	問6 5点
問7 12点	問8 8点	

#### 本文解説

(第1・2段落)

1) For more than a decade, Satya Naresh has been trying to persuade India's men to stop a wedding custom that he sees as one of the country's worst social evils.

2) He wants men to declare: "I don't want dowry". 3) He used this statement as the name

#### テーマ

夏の終わりを告げるインド三大祭りの1つ、ダシエラ祭のころにインドの結婚シーズンは始まり、毎晩のようにバラードの音があちこちから聞こえてくるようになる。一族や友人が時には数百人も集い、歌ありゲームありダンスありの派手な結婚式が数日間にわたって続くのだ。しかし、そんなめでたい席の裏で、花嫁の家族が絶望していることがあるらしい。原因は花婿からの過度な持参金の要求である。インドでは持参金に関連した殺人や自殺が年間数千件も発生し、dowry death 「ダウリー(持参金)死」という言葉まで生まれた。結婚式という一世一代の晴れ舞台の裏でいったい何が起きているのだろうか。

【出典】'Deeply rooted tradition': one man's long fight to end illegal dowries in India: The Guardian

1) 10年以上の間、サティヤ・ナレシュは、彼自身がインドで最もひどい社会悪の1つとみなす婚礼に伴うある風習をやめよう、インドの男性たちを説得し続けている。

2) 彼は男性たちが「持参金はいらない」と宣言することを望んでいる。 3) 彼はこの声明を、キ

of the website he set up in 2006 as part of his campaign. 4) Naresh wants Indian men not to expect the money, motorbike, sofa, TV, iPhone, gold jewellery or fridge that a future wife is expected to come with.

キャンペーンの一環として彼が2006年に立ち上げたウェブサイトの名称に使った。4) ナレシュは、インドの男性が、妻となる人が持ってくることになっているお金、オートバイ、ソファ、テレビ、アイフォン、金の装飾品、冷蔵庫などを求めないでほしいと思っている。

- 1) ・ that he sees as one of the country's worst social evils は a wedding custom を先行詞とする関係代名詞節。関係代名詞節の中では、see O as C 「O を C とみなす」の表現が用いられており、O にあたるのが先行詞の a wedding custom、C にあたるのが one of the country's worst social evils である。
- 3) ・ this statement は第2)文の "I don't want dowry" 「持参金はほらない」を指している。
- ・ he set up in 2006 as part of his campaign は the website を修飾する形容詞節。
- 4) ・ that a future wife is expected to come with は the money, motorbike, sofa, TV, iPhone, gold jewellery or fridge を先行詞とする関係代名詞節。直訳すると「将来の妻がそれと一緒にやってくると期待される」となるが、「妻となる人が持ってくることになっている」と考えるとわかりやすい。

- decade 「10年」
- persuade O to do 「O に…するよう説得する」
- custom 「社会習慣、風習」
- social evil 「社会悪」
- want O to do 「O に…してもらいたい」
- declare 「宣言する、表明する」
- statement 「意見、声明」
- jewellery 「宝石類、装飾品」
- fridge 「冷蔵庫」 refrigerator の短縮語

### 〈第3・4段落〉

5) Dowries have been illegal in India for 60 years, but the custom is entrenched. 6) India records more than 8,000 "dowry deaths" each year; 20 women die each day through suicide or murder related to dowry demands. 7) Dowries push poor families into debt and female fetuses are aborted because couples do not want a girl. 8) "Everyone wants money. 9) Everyone takes shortcuts. 10) People are greedy," says Naresh. 11) "It is one of India's most deeply rooted traditions. 12) This country's traditions go back centuries and it's very hard to uproot them. 13) Dowry is no different."

5) 持参金はインドでは60年前から違法であるが、その風習は深く根づいている。6) インドでは毎年8,000件を超える「持参金死」が記録され、持参金の要求に関連した自殺や殺人で毎日20人の女性が死んでいる。7) 持参金は貧しい家庭に債務を負わせ、夫婦が女の子を望まないために女の子の胎児を中絶してしまう。

8) 「だれでもお金を欲しがります。9) だれでも近道を選びます。10) 人は貪欲なのです」とナレシュは言う。11) 「それは、インドで最も深く根づいた伝統の1つなのです。12) この国に伝わる慣習の起源は何百年も前にさかのぼりますが、そういったものを根絶やしにするのは非常に困難なことです。13) 持参金も同じなのです」

- 6) ・ through は〈原因・理由〉を表す。through suicide or murder で「自殺や殺人のために」の意味。
- ・ related to dowry demands は suicide or murder を後置修飾する過去分詞句。
- 9) ・ shortcut 「近道」というのは、ここでは「持参金」のように勞せずしてお金を手にする方法のことを言っている。
- 11) ・ 下線部(1)については、**設問別解説**参照。
- 12) ・ it's very hard to uproot them は形式主語構文。them は This country's traditions を指す。

- illegal 「違法な」
- record O 「O を記録する」
- suicide 「自殺」
- murder 「殺人」
- related to A 「A に関連した」
- push O into A 「O を A の状態に追いやる」
- debt 「借金、債務」
- greedy 「貪欲な」
- uproot O 「O を根絶する」

〈第5段落〉

14) Naresh, 50, a web designer in Hyderabad, lives with his parents. 15) His two elder sisters were wed without dowries. 16) His awareness of the issue started when he was studying commerce at university and <sup>(2)</sup> he saw his friend's despair over the belief that she would never find a husband because of her parents' poverty. 17) Another friend vowed never to marry out of loathing for the custom.

14) 50歳のナレシュはハイデラバードのウェブデザイナーで、両親と一緒に暮らしている。15) 彼の2人の姉は持参金なしで結婚した。16) その問題に対する彼の意識は、大学で商業を学んでいるときに芽生えた。そして、彼は、両親が貧しいために夫を見つけることなんてできないと考えて絶望している友人を見た。17) 別の友人は、その風習への強い嫌悪から決して結婚はしないと誓った。

- 14) ・50は年齢を表し、a web designer in Hyderabad は Naresh と同格の関係で補足的に説明を加えている。  
 16) ・下線部(2)については、設問別解説参照。  
 17) ・vow to do は「…すると誓う」の意味。vowed never to marry で「決して結婚しないと誓った」となる。  
 ・out of は〈動機・原因〉を表す。out of loathing for the custom で「その風習(=持参金)への強い嫌悪から」の意味。  
 [例] I called her out of concern.  
 「私は心配して彼女に電話をした」

- elder 「年長の」
- be wed 「結婚する」
- awareness 「自覚すること、意識」
- issue 「論議の対象となるテーマ、問題(点)」
- commerce 「商業」
- despair 「絶望」
- loathing 「強い嫌悪」

〈第6段落〉

18) At another friend's wedding, Naresh saw the bride's family in despair. 19) "At the last minute, the bridegroom had demanded another 10,000 rupees as dowry, <sup>(3)</sup> or else he would call it off. 20) The friend's father didn't have it. 21) He had already given so much. 22) My friends and I worked together and collected the money and gave it to him and the marriage went ahead, but I was shocked at how easily my friend's future could have been destroyed without that 10,000 rupees," he says.

18) 別の友人の結婚式では、ナレシュは花嫁の家族が絶望しているのを見た。19) 「土壇場になって、花婿が持参金としてさらに1万ルピーを要求してきたのです。そうしなければ結婚は取りやめると。20) 友人の父親はそんなお金は持っていませんでした。21) 彼はすでに大金を渡していたのです。22) 私は友人たちと協力してお金を集め、花婿に渡し、2人は無事結婚しました。しかし、その1万ルピーがなかったら、私の友人の未来はあまりにもあっさりとつぶされてしまったかもしれないということに、私は衝撃を受けました」と彼は言う。

- 18) ・see O in despair で「Oが絶望しているのを見る」という表現。  
 19) ・At the last minute は「土壇場になって」という意味で用いられている。  
 ・下線部(3)については、設問別解説参照。  
 21) ・so much は had (already) given の目的語で「非常にたくさんのもの(=非常にたくさんの持参金)」の意味。  
 22) ・the marriage went ahead は「結婚は進行した」、つまり「結婚は予定通り行われた」ということ。  
 ・how easily ... that 10,000 rupees は〈how + 形容詞・副詞 + S V〉「どれほど…するか」を用いた名詞節で、前置詞 at の目的語となっている。  
 ・how easily ... では仮定法過去完了が用いられ、without ... 「…がなかったら」が条件を表す。my friend's future could have been

- bride 「花嫁」
- bridegroom 「花婿」
- demand O 「Oを要求する」
- call O off / call off O 「Oを中止する」
- marriage 「結婚」
- go ahead 「前進する」

destroyed で「私の友人の未来は(現実にはつぶされなかったが) つぶされていたこともありうる」という意味になる。

〈第7・8段落〉

23) Naresh also hopes his website will bring together ( 4 ) people who want to marry without a dowry. 24) He says 50 couples have married after meeting on the site.

25) Naresh is resolutely optimistic. 26) "Women are better educated than ever before, they are working, some are independent. 27) Women have a <sup>(5)</sup>voice now. 28) Some have the confidence to tell their father that if a prospective bridegroom demands a dowry, they won't marry him. 29) It's a small start but it's ( 6 )," he says.

23) ナレシュは彼のウェブサイトが、持参金なしで結婚したいという同じ考えを持っている人たちを結びつけることも望んでいる。24) そのサイトで出会った後に50組が結婚したと彼は言う。

25) 彼は楽観的な見方を強く持っている。26) 「女性は今、かつてないほどより良い教育を受けています。女性は働いているし、自立している女性もいます。27) 女性は今や発言力を持っています。28) もし、花婿候補が持参金を要求してきたら結婚はしないと堂々と父親に言うつもりだという女性もいます。29) 小さな一歩かもしれませんが、それが重要なのです」と彼は言う。

23)・空所(4)については、設問別解説 参照。

・who want to marry without a dowry は people を先行詞とする関係代名詞節。

26)・than ever before は「かつてないほど」の意味。

・some は some women の意味。第28)文の Some も同様。

27)・下線部(5)については、設問別解説 参照。

28)・Some have the confidence to tell their father that ... では、have the confidence to do 「大胆にも…する、堂々と…する」の表現が使われている。

29)・空所(6)については、設問別解説 参照。

- bring O together / bring together 「Oを集める」
- resolutely 「断固として」
- optimistic 「楽観的な」
- independent 「自立した」
- prospective 「将来の、…になる予定の」

〈第9段落〉

30) He wants government action on the issue, pointing to India's anti-tobacco campaign, in which every cigarette packet was stamped with a horrible warning, vendors were banned from outside school gates, and cinemas screened anti-tobacco ads.

30) 彼はその問題に関して政府が行動を起こすことを望んでおり、インドにおける喫煙に反対するキャンペーンに言及している。そのキャンペーンでは、すべてのタバコの箱に恐ろしい警告が印刷され、売り子は学校の校門近くでの販売が禁止され、映画館では反タバコ広告が上映された。

30)・pointing to India's anti-tobacco campaign は He を意味上の主語とする分詞構文。

・in which every cigarette ... anti-tobacco ads は India's anti-tobacco campaign を補足的に説明する非制限用法の関係代名詞節。この関係詞節内では every cigarette packet was ... horrible warning と vendors were ... school gates と cinemas screened anti-tobacco ads の3つのS Vがandで並列されている。

- point to A 「Aを示す、Aに言及する」
- anti-tobacco campaign 「喫煙に反対するキャンペーン」
- packet 「(タバコなどの)箱」
- stamp O with A 「OにAを印字する」
- horrible 「恐ろしい」
- warning 「警告」
- vendor 「販売業者、売り子」
- ban O 「Oを禁止する」
- screen O 「Oを上映する」

〈第10・11段落〉

31) "Have you ever seen an anti-dowry poster anywhere?" he asks. 32) In a country of India's size, it is difficult for civil society groups to change attitudes nationwide without government backing.

33) "We have never had an energetic, determined effort to smash into people's consciousness. 34) We haven't had a single TV series tackling dowry that is watched by the masses. 35) It's no good making dowry illegal without working to make it something Indians are ashamed of accepting," he says.

31) 「どこかで反持参金のポスターを見かけたことがありますか」と彼は問かける。 32) インドのような大きな国では、市民団体が政府の支援なしで国全体の考え方を変えるのは困難なのだ。

33) 「私たちはこれまで、人々の意識を突き破るための有効で断固とした取り組みをしてこなかったのです。 34) 持参金問題を扱う、一般大衆が目にするテレビのシリーズ番組など1つもなかったのです。 35) 持参金を受け入れるのは恥ずかしいことだとインド人が思うようにする努力をせずに、それを違法にしても意味がないのです」と彼は言う。

- 32) ・ it is difficult ... without government backing は形式主語構文で、真主語は for civil society groups to change ... 「市民団体が…を変えること」である。
- 33) ・ people's consciousness 「人々の意識」とは、持参金という風習をやめようとしないインド国民の考え方のこと。
- 34) ・ 現在分詞句の tackling dowry と関係代名詞節の that is watched by the masses がともに a single TV series を後置修飾している。
- 35) ・ 下線部(7)については、設問別解説 参照。

- civil 「市民の」
- attitude 「態度、考え」
- nationwide 「全国的に」
- backing 「支援」
- energetic 「活発な、有効な」
- determined 「断固とした」
- smash into A 「A を突き破る」
- tackle O 「O に取り組む」
- the masses 「一般大衆」
- be ashamed of A 「A を恥じている」

〈第12・13段落〉

36) The showy weddings of the rich have not helped. 37) If the wealthy held smaller weddings without dowry it could set a trend, says Naresh, and this could make it easier for poorer families to resist dowry pressures.

38) In Kerala, in the space of two days in June, three young women died over dowry issues — two are believed to have taken their own lives and one was allegedly murdered.

36) 金持ちたちの派手な結婚式もためになるものではなかった。 37) もし裕福な人たちが持参金なしの小規模な結婚式を開くようになったら、それが流行になるかもしれません。そうなれば貧しい家庭は持参金の圧力に抵抗しやすくなるかもしれません、とナレシュは言う。

38) ケララ州では、6月の2日間のうちに、持参金問題で若い女性が3人死んだ。2人は自ら命を絶ったと思われ、1人は伝えられるところによると殺害されたようだ。

- 36) ・ 「金持ちたちの派手な結婚式は役には立ってこなかった」が文字通りの意味だが、ここでは持参金の風習の責任がそこにあるという強い非難の気持ちを、あえて控えめな言い方で表している。
- 37) ・ If the wealthy held smaller weddings without dowry it could set a trend では仮定法過去が用いられ、it could set a trend が帰結節である。it は if 節の内容を指す。
- ・ the wealthy は 〈the + 形容詞〉「…な人々」を用いた表現で「裕

- showy 「派手な」
- set a trend 「流行になる」
- resist O 「O に抵抗する」
- pressure 「圧力、プレッシャー」
- in the space of A 「A の期間に」
- allegedly 「伝えられるところでは」

福な人々」の意味。

38) over は〈関連〉を表す前置詞で、「…について、…をめぐる」の意味。

[例] They often fight over little things.

「彼らはつまらないことで争うことがよくある」

・two are believed to have taken their own lives は S be believed to have *done* 「S は…したと考えられる」の構文が用いられている。完了不定詞 to have taken ... は are believed の時制を基準に考えて、それよりも前の行為であることを表し、it is believed that two took their own lives と書き換えられる。

(第14・15段落)

39) Naresh believes the deaths should trigger public outrage. 40) A governor in Kerala is calling on university vice-chancellors to make students promise not to seek or pay a dowry, or lose their degree.

41) "We have planted a seed. 42) Give the tree time to grow. 43) In time, I hope <sup>(8)</sup>the canopy of this tree will cover all of India, and protect all its young women," he says.

39) ナレシュは、それらの死が大衆の怒りに火をつけるはずだと信じている。40) ケララ州知事は、持参金を求めることも払うこともしないと学生たちに約束させ、そうでなければ学位を取り消すように大学の副学長たちに求めている。

41) 「私たちは種を植えました。42) 木が成長するのを待ちましょう。43) やがて、この木の樹冠がインド全体を覆い、インドのすべての若い女性を守ってくれることを望んでいます」と彼は言う。

40) make students promise ... では make O do 「O に…させる」の表現が用いられ、do にあたる promise not to seek or pay a dowry と lose their degree が or で並列されている。promise not to do は「…しないと約束する」の意味。

43) 下線部(8)については、設問別解説 参照。

● murder O 「O を殺害する」

- trigger O 「O のきっかけになる、O を誘発する」
- outrage 「激怒」
- governor 「知事」
- call on A to do 「A に…するよう求める」
- seek O 「O を求める」
- degree 「学位」
- seed 「種」
- in time 「やがて」
- canopy 「樹冠」

## 設問別解説

### 問1 下線部同義語記述問題 ★★☆☆

下線部(1)の deeply rooted とほぼ同じ意味の英単語1語を、第3段落(Dowries have been ... で始まる段落)から抜き出して書け。

#### ポイント

・the custom が dowries の風習であることに着目する

deeply rooted は「深く根づいて」の意味。第5)文中にある entrenched が「確立された、しっかり根づ

いた」という意味なので、deeply rooted とほぼ同じ意味となる。したがって、entrenched が正解。

▶ 第12), 13)文で「この国に伝わる慣習の起源は何百年も前にさかのぼりますが、そういったものを根絶やしにするのは非常に困難なことです。持参金も同じなのです」と述べられていることから、下線部を含む第11)文は「持参金という風習がなくならない」という意味だと推測できる。また、第5)文では「持参金はインドでは60年前から違法であるが、その風習が entrenched である」とあり、さらに後続する第6)文で、持参金に関連した死が多く発生しているとあるため、entrenched が「根づいている」

という意味だと推測できる。

## 問2 下線部和訳問題 ★☆☆

下線部(2) he saw his friend's despair over the belief that she would never find a husband because of her parents' poverty. を和訳せよ。

### ポイント

・同格節を含む the belief that ... の自然な訳出

訳出のポイントは以下の通り。

- ・ he saw his friend's despair over ... の despair over は「…に対する絶望」の意味。よってこの部分は「彼は友人の…に対する絶望を見た」となる。
- ・ the belief that she would never find a husband because of her parents' poverty の that は同格節を導く接続詞で、belief の内容を説明している。この部分を直訳すると「彼女は両親の貧困のために夫が見つからないだろうという考え」となる。

以上から、下線部全体は「彼は、両親の貧困のために夫が見つからないだろうという考えに対する友人の絶望を見た」と訳出できるが、because of her parents' poverty を「両親が貧しいために」、over the belief that ... を「…と考えて」、his friend's despair を「絶望している友人」のように訳出すると、より自然な日本語となる。したがって、「彼は、両親が貧しいために夫を見つけることなんてできないと考えて絶望している友人を見た」のように訳すとよい。

## 問3 下線部内容説明問題 ★★★

下線部(3) or else he would call it off は具体的にどういうことか、本文に即して40字程度の日本語で説明せよ。

### ポイント

- ・接続詞 or else
- ・call O off

or else は前文の内容を受けて「さもないと、そうでなければ」の意味。call O off は「Oを中止する」の意味なので、下線部(3)は「そうでなければ、彼はそれを中止するだろう」となる。具体的な内容を求めて直前の第18文と下線部を含む第19文以下を見ると、「別の友人の結婚式では、ナレシュは花嫁の家族が絶望しているのを見た。『土壇場になって、花嫁が持参金としてさらに1万ルピーを要求してきた…』」とあ

るため、「そうでなければ」は「持参金をさらに1万ルピー出さないと」、「彼」は「花婿」、「それ」は「結婚式」のことだとわかる。したがって、これを指示の字数に合わせ「持参金をさらに1万ルピー出さないと結婚を取りやめると花嫁が要求しているということ。」(41字)のようにまとめればよい。

## 問4 空所補充選択問題 ★☆☆

空所(4)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| (ア) long-lasting | (イ) well-known  |
| (ウ) good-looking | (エ) like-minded |
| (ア) 長く続く         | (イ) よく知られた      |
| (ウ) 顔立ちの良い       | (エ) 同じ考え方を持った   |

### ポイント

・ウェブサイトが集まったのはどんな人たち?

空所(4)を含む文は「ナレシュは彼のウェブサイトが、持参金なしで結婚したい(4)人たちを結びつけることも望んでいる」という意味。続く第24文で「そのサイトで出会った後に50組が結婚した」とあるので、このウェブサイトには持参金なしで結婚したいという同じ考えを持った人たちが集まっているとわかる。そこで、「同じ考えを持った」の意味の like-minded を空所に入れると文脈に合う。したがって、(エ)が正解。

▷(ア)の long-lasting、(イ)の well-known、(ウ)の good-looking は、いずれも文脈に合わないため不可。

## 問5 下線部同義語選択問題 ★☆☆

下線部(5) voice の意味に最も近い語を、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| (ア) say   | (イ) talk  |
| (ウ) claim | (エ) chat  |
| (ア) 発言権   | (イ) 話すこと  |
| (ウ) 主張    | (エ) おしゃべり |

### ポイント

・名詞の say の意味は?

下線部(5)を含む文は「女性は今 voice を持っている」という意味。直前の第26文の「女性がより良い教育を受け、働き、自立するようになっている」という内



容から、下線部(5)の voice は「発言力」の意味だと判断する。名詞の say には「発言権、影響力のある発言」の意味があるため、(ア)が正解となる。

#### 問6 空所補充選択問題 ★★★

空所(6)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) nothing (イ) nowhere  
(ウ) something (エ) somewhere

- (ア) どうでもいい事 (イ) 名もない場所  
(ウ) 重要なもの (エ) ある場所

#### ポイント

- ・「重要なもの」の意味の something

空所(6)を含む文は「それは小さな歩ですが、それが(6)なのです」という意味。It は同段落の「女性により良い教育を受けるようになり、自立し、その結果持参金を要求してくる男性とは結婚をしないと堂々と父親に伝える女性もいる」という内容を受けている。そこで、「重要なもの、大切なこと」という意味で用いられることのある something を空所に入れると「持参金という風習をなくすために、そういうこと(=女性が自立し、持参金を求める花婿候補を拒絶すること)が重要なものだ」という文脈に合った内容となる。したがって、(ウ)が正解。

#### 問7 下線部和訳問題 ★★★

下線部(7) It's no good making dowry illegal without working to make it something Indians are ashamed of accepting を和訳せよ。

#### ポイント

- ・ It's no good doing
- ・ make O C

訳出のポイントは以下の通り。

- ・ It's no good making dowry illegal では、it is no good doing 「…してもむだである」の表現が用いられている。doing にあたるのが make O C 「O を C にする」を用いた making dowry illegal で、「持参

金を違法にすること」という意味。

- ・ without working to make ... では without doing 「…せずに」の表現が用いられ、work to do は、「…するよう努力する」の意味である。

- ・ make it something Indians are ashamed of accepting では、make O C 「O を C にする」が用いられ、O にあたるのが it 「それ(=持参金)」、C にあたるのが something Indians are ashamed of accepting である。Indians are ashamed of accepting は something を修飾する形容詞節。よって、この部分は「それをインド人が受け入れるのが恥ずかしいと思うものにすると」訳せる。

以上から、下線部全体は「持参金を受け入れるのは恥ずかしいことだとインド人が思うようにする努力をせずに、それを違法にしても意味がないのだ」のように訳出するとよい。

#### 問8 下線部内容説明問題 ★★★

下線部(8) the canopy of this tree will cover all of India は具体的にどういうことか、本文に即して30字程度の日本語で説明せよ。

#### ポイント

- ・ 「種」と「木」と「樹冠」が意味するものは？

下線部(8)は「この木の樹冠がインド全体を覆うだろう」が文字通りの意味。樹冠とは、樹木の上部の枝や葉が茂っている部分のこと。また、直前の第41)、42)文は「私たちは種を植えました。木が成長するのを待ちましょう」という意味である。「持参金という風習はなくすべきだ」という筆者の主張から、地道な活動を通じて人々のあいだで持参金を考え直すきっかけを作ったことが「種を植える」、その意識が人々の中で大きくなることが「木が成長する」、そしてその意識がインド全体に広がって、この風習がなくなっていくことが「樹冠がインド全体を覆う」と比喩的に表現されていると判断する。したがって、その内容を指示の字数に合わせて「持参金の風習をやめようという意識がインド全体に広がること。」(29字)のようにまとめればよい。

## 6 英作文

### A 整序英作文

知識・技能 英文を組み立てる力

#### ▶ 解答 ▶

【配点】(12点) 各4点×3

1. *Sleeping habits differ drastically among species. (Elephants get by with two hours of) shut-eye, while armadillos need twenty.*
2. *I (find it interesting that just looking at flowers is) relaxing.*
3. *The (venue was packed with people who wanted) to get a glimpse of the historic sporting event.*

#### 解説

##### 1. ★★★

#### ポイント

- ・ get by の表現

「象は…でやっていける」は、Elephants を主語とし、get by (with A) 「(A で) どうにかうまくいく」を用いる。

【例】He can get by with help from his brother.  
(彼は兄の助けで何とかやっていける)

「2時間の睡眠」は、名詞の shut-eye 「眠ること、睡眠」を用いて、two hours of shut-eye で表すことができる。

以上から、Elephants get by with two hours of shut-eye, while armadillos need twenty. という正しい語順が得られる。

##### 2. ★★★

#### ポイント

- ・ 形式目的語構文
- ・ 動名詞主語

「面白いことに…」は、find it ... that S V ~ 「～を…だと思う」という形式目的語構文を用いて、I find

it interesting that ... で表すことができる。

「花は見ているだけでほっとする」は、「花をただ見ていることがほっとさせる」と考え、動名詞句を主語にして just looking at flowers is relaxing で表すことができる。

以上から、I find it interesting that just looking at flowers is relaxing. という正しい語順が得られる。

##### 3. ★☆☆

#### ポイント

- ・ be packed with A
- ・ 主格の関係代名詞

「…で会場は満員だった」は、The venue 「会場」を主語とし、be packed with A 「A でいっぱいである」を用いて表す。

「その歴史的なスポーツイベントを一目見たいという人々」は、people を先行詞として、主格の関係代名詞 who を用いた who wanted to get a glimpse of the historic sporting event という関係代名詞節を後続させる。

以上から、The venue was packed with people who wanted to get a glimpse of the historic sporting event. という正しい語順が得られる。

### B 本格英作文

表現力 与えられた日本語を英語で表現する力

#### ▶ 解答例 ▶

【配点】(17点) (1) 8点 (2) 9点

- (1) Recently, lots of people have started to go to the gym before work in order to keep fit.
- (2) Even though I don't intentionally spend time exercising, I have a lot of opportunities to be active every day.

## 別冊

- (1) These days, there are a lot of people who work out at gyms before they go to work to stay in shape.
- (2) Even if you don't put aside time specifically for exercise, there are many chances to get exercise in your daily life.

## 解説

### (1) ★☆☆

#### ポイント

- ・「最近は何多くいる」をどう表現するか

#### ●「最近は何する）人が多くいる」

・「最近」は、「近頃、近年」の意味の recently や in recent years が使える。後続する日本語が現在の状況を説明しているので、文の動詞は現在完了形とする。「今日、この頃は」の意味の these days や today や nowadays を用いてもよいが、このときは文の動詞を現在形にする。

・「（…する）人が多くいる」は、there are a lot of people (who do …) としてもよいが、a lot [lots] of people do … 「多くの人が…する」とすれば簡潔な英文となる。

#### ●「健康を維持するため」

・「健康を維持する」は stay in shape や stay healthy と書くことができる。keep fit という表現も覚えておくとよい。

・「…するため」は不定詞の to do を用いればよいが、in order to do とすると〈目的〉の意味であることがより明確になる。

#### ●「出勤前にスポーツジムに通う」

・「出勤前に」は before they go to work とすればよいが、「仕事前に」と考えて before work と書くこともできる。

・「スポーツジムに通う」は go to the [a] gym でよい。「ジムでトレーニングをする」ということなので work out at gyms としてもよい。

以上から、下線部(1)の全体は、Recently, lots of people have started to go to the gym before work in order to keep fit. または、These days, there are a lot of people who work out at gyms before they go to work to stay in shape. などと書くことができる。

### (2) ★★★

#### ポイント

- ・「時間を計画的にとらなくても」をどう表現するか

#### ●「運動する時間を計画的にとらなくても」

・「運動する時間をとる」は、「時間を運動することを使う」ということなので、spend time (on) exercising とすればよい。「運動のために時間を割く」と考えて、put aside time for exercise とするのもしよい。主語は、自分のことを述べていると考えれば I を、一般的に述べていると考えれば you を用いることになる。

・「計画的に」は「意図的に」と考えて、intentionally や deliberately とするのがよい。また、specifically 「特に、ことさら」を用いることもできる。

・「…しなくても」は、主語を I にする場合は、Even though … 「(事実)…であっても」を用いて Even though I don't … とすればよい。これに対して主語を you にする場合は、Even if … 「(仮に)…であっても」を用いて Even if you don't … とするのがよい。

#### ●「日常生活の中で(…する機会)はいくらでもあるものだ」

・「日常生活の中で」は in one's everyday [daily] life としてもよいが、単に every day 「毎日」でよい。1語の everyday は「毎日の」という形容詞であり、2語の every day は副詞の働きをすることに注意。

・「…はいくらでもあるものだ」は、I が主語なら I have a lot of … とし、一般論であれば there are many … とすればよい。

#### ●「体を動かす機会」

・「体を動かす」は「運動する」ということなので get exercise でよいが、「活動的になる」と考えて、be active としてもよい。

・「…する機会」は opportunity to do や chance to do を用いればよい。「機会はいくらでもある」という文脈から「機会」は opportunities / chances と複数形にすることになる。

以上から、下線部(2)の全体は、主語をIとして Even though I don't intentionally spend time exercising, I have a lot of opportunities to be active every day. または、youを主語とした一般論で Even if you don't put aside time specifically for exercise, there are many chances to get exercise in your daily life. などと書くことができる。

## 全訳例

(1) Recently, lots of people have started to go to the gym before work in order to keep fit. It seems that a quick workout before work refreshes their mood and improves their performance at work. But my way of staying in shape is different from theirs. I usually try to walk as much as I can, and I take the stairs instead of escalators or elevators. (2) Even though I don't intentionally spend time exercising, I have a lot of opportunities to be active every day.

## C 自由英作文

**表現力** 与えられたテーマについて英語で表現する力

### ▶ 解答例 ◀

【配点】(16点)

#### 【解答例1】

I would give a present to my best friend, Nami. Her birthday is next month, and I would like to buy her a nice hat because she really loves fashion. She got me a beautiful bracelet for my birthday last year, so I want to get her something she will really like. (52語)

#### 【解答例2】

I want to buy my mother a pair of high-quality tennis shoes. She really enjoys playing tennis but never spends much money on herself. I'd like to buy some that are light and supportive and made for playing tennis. If I can find some, I'll give them to her as a Christmas present. (53語)

## 解説

★★★

### ポイント

・内容を具体的に説明する

設問で求められていることをきちんと理解した上で、指示された条件に合わせ、テーマと矛盾のないように書かねばならない。本問では「身近な人にプレゼントをあげるとしたら、誰に、いつ、何を渡すか」を50語程度の英語で答えることが求められている。「誰に」「いつ」「何を」の3つを具体的に述べながら、プレゼントをあげたい相手に対する思いが読み手に伝わるよう、ていねいに説明する必要がある。時制に関しては、「…するとしたら」という仮定の話なので、仮定法で表現してもよいし、プレゼントをあげる気持ち

や状況が現実的ならば直説法で書いてもよい。語数は「50語程度」と指定されているので、少なくとも40語以上でまとめるのが望ましい。

以下に、【解答例1】【解答例2】の英文と日本語訳を示し、それぞれに使用されている表現などについて簡単な説明を加えておく。

### 解答例1の英文と日本語訳

1) I would give a present to my best friend, Nami. 2) Her birthday is next month, and I would like to buy her a nice hat because she really loves fashion. 3) She got me a beautiful bracelet for my birthday last year, so I want to get her something she will really like.

1) 私なら親友のナミにプレゼントをあげる。  
2) 彼女の誕生日は来月なので、彼女にすてきな帽子を買ってあげたい。なぜなら、彼女はとても

ファッションが好きだから。3) 昨年の私の誕生日にはきれいなブレスレットをくれたので、彼女が本当に欲しい物を私もあげたい。

#### 【解答例1の表現】

- 1) I would give a present to my best friend, Nami.
  - ・ S would *do* 「Sなら…する」
  - ・ best friend 「親友」
- 2) Her birthday is next month, and I would like to buy her a nice hat because she really loves fashion.
  - ・ would like to *do* 「…したい」
  - ・ buy O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> 「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を買ってあげる」
- 3) She got me a beautiful bracelet for my birthday last year, so I want to get her something she will really like.
  - ・ get O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> 「O<sub>1</sub>のためにO<sub>2</sub>を手に入れる」
  - ・ bracelet 「ブレスレット」

#### 【解答例2の英文と日本語訳】

1) I want to buy my mother a pair of high-quality tennis shoes. 2) She really enjoys playing tennis but never spends much money on herself. 3) I'd like to buy some that are light and supportive and made for playing tennis. 4) If I can find some, I'll give them to her as a Christmas present.

1) 私は母に高品質のテニスシューズを1足買ってあげたい。2) 彼女は本当にテニスを楽しんでいるのに、自分自身にお金を多く使うことはないのだ。3) 軽くて、しかも足をしっかり守ってくれる、テニス用に作られたシューズを買いたい。4) もし見つけられたら、クリスマスプレゼントとして彼女にあげるつもりだ。

#### 【解答例2の表現】

- 1) I want to buy my mother a pair of high-quality tennis shoes.
  - ・ a pair of A 「1組のA」
  - ・ high-quality 「高品質の」
- 2) She really enjoys playing tennis but never spends much money on herself.
  - ・ enjoy *doing* 「…することを楽しむ」
  - ・ spend O on A 「O(お金など)をAに費やす」
- 3) I'd like to buy some that are light and supportive and made for playing tennis.
  - ・ some ここでは a pair of tennis shoes のこと。
  - ・ light 「軽い」
  - ・ supportive 「支えてくれる、補助的な」
- 4) If I can find some, I'll give them to her as a Christmas present.
  - ・ as A 「Aとして」

模試受験後の学習のために、「河合塾全統模試学習ナビゲーター(以下:模試ナビ)」にて、Listening Comprehensionの音声を聴くことができます。模試ナビをご利用いただくには、会員登録(無料)が必要です。詳細は、以下の模試ナビ Web ページをご確認ください。

<https://www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/>

# 【数 学】

## 【I型受験者用】

### 〈数学における学力要素〉

知識・技能	定義・定理・公式の理解と運用力, 計算力
思考力・判断力	情報を収集する力, 状況を分析する力, 構想を立てる力, 論理を展開する力 など
表現力	答えを導くまでの過程や自分の思考の道筋を解答として正しく記述し, 他人に伝える力 など

設問で主に問われている学力要素

**知識・技能**, **思考力・判断力**, **表現力**

を《設問別学力要素》として設問ごとにわかりやすく表にまとめています。

※ **思考力・判断力**, **表現力** が付いた設問では, 記載はありませんが **知識・技能** を含みます。

### 1 小問集合

#### 【I型 必須問題】 (配点 60点)

- $2x^2+3x-5$  を因数分解せよ。
- $x=3+\sqrt{5}$ ,  $y=3-\sqrt{5}$  のとき, 次の式の値を求めよ。
  - $xy$
  - $\frac{y}{x} + \frac{x}{y}$
- 放物線  $C: y=2x^2-8x+9$  の頂点を  $P$  とする。
  - $P$  の座標を求めよ。
  - $a$  は実数の定数とする。  $P$  を  $x$  軸方向に 1,  $y$  軸方向に  $a$  だけ移動した点  $Q$  が  $C$  上にあるとき,  $a$  の値と  $Q$  の座標を求めよ。
  - (ii) のとき, 2 次関数  $y=f(x)$  のグラフは  $Q$  を頂点とし,  $P$  を通る放物線である。 $f(x)$  を求めよ。
- 次のデータは, 10 人の生徒にテストを行ったときの得点である。
 

5, 3, 3, 4, 1, 0, 6, 7, 9, 2

  - 中央値を求めよ。
  - 平均値を求めよ。
  - 分散を求めよ。
- $k$  は実数の定数とする。  $x$  の方程式
 
$$2x+2-|x+k|=0 \quad \cdots (*)$$
 がある。
  - (\*) が  $x=0$  を解にもつとき,  $k$  の値を求

めよ。

(ii)  $k=-1$  のとき, (\*) を解け。

(iii)  $m$  は実数の定数とする。 (ii) の (\*) の解が  $x$  の不等式

$$9x^2+9(m+1)x+9m^2-4>0$$

を満たす,  $m$  の値の範囲を求めよ。

#### 【配点】

- 5 点。
- 10 点。 (i) 5 点。 (ii) 5 点。
- 15 点。 (i) 5 点。 (ii) 5 点。 (iii) 5 点。
- 15 点。 (i) 5 点。 (ii) 5 点。 (iii) 5 点。
- 15 点。 (i) 5 点。 (ii) 5 点。 (iii) 5 点。

### 《設問別学力要素》

大問	分野・内容	配点	小問	配点	知識・技能	思考力・判断力	表現力
1	小問集合	60点	(1)	5	○		
			(2)(i)	5	○		
			(2)(ii)	5	○		
			(3)(i)	5	○		
			(3)(ii)	5	○		
			(3)(iii)	5	○		
			(4)(i)	5	○		
			(4)(ii)	5	○		
			(4)(iii)	5	○		
			(5)(i)	5	○		
			(5)(ii)	5	○		
			(5)(iii)	5	○		

#### 出題のねらい

- 因数分解の手法が身についているかを確認する問題である。
- 適切な式変形を行い, 式の値を正しく計算できるかを確認する問題である。
- 放物線の頂点の座標を正しく求められるか, 与えられた条件を満たす 2 次関数を正しく求められるかを確認する問題である。
- 与えられたデータの中央値, 平均値, 分散を正しく求められるかを確認する問題である。
- 絶対値記号を含む方程式を解くことができるか, 方程式の解が不等式を満たすための条件を正しく考えられるかを確認する問題である。

#### ▶ 解答 ◀

- $$2x^2+3x-5$$

$$=(2x+5)(x-1).$$
- (i)  $x=3+\sqrt{5}$ ,  $y=3-\sqrt{5}$  より,
 
$$xy=(3+\sqrt{5})(3-\sqrt{5})$$

$$=9-5$$